

総合戦略の改訂について



策定の趣旨

急速な少子高齢化の進展による人口減少や、東京圏への人口一極集中に歯止めをかけ、それぞれの地域で住みよい環境を確保し、地方を活性化するための基本的な理念を定める「まち・ひと・しごと創生法」の趣旨を踏まえ、本町において人口減少を克服し、2040年将来人口展望「人口1万人」の目標に向けて、活力ある地域社会を実現していくために、平成28年3月に第1期総合戦略を策定し、計画的に施策の展開を図ってきました。

令和元(2019)年度には第1期総合戦略の計画期間が満了を迎えるにあたり、引き続き、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、「上毛町人口ビジョン」を踏まえ、第1期総合戦略での取組をさらに進化・発展させ、本町における人口減少問題の克服、地方創生施策を進める上での基本目標やめざす方向性、具体的な施策を定めることを目的として第2期総合戦略を策定しました。

■第2期上毛町総合戦略と国の『第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」』施策内容について

基本目標	施策
1 安定した雇用を創出する	(1)観光資源の創出・整備 (2)地域産業の活性化
第2期総合戦略における各分野の主要な取組(内閣府) 「稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする」	○地域資源・産業を活かした地域の競争力強化 ○専門人材の確保・育成 ○働きやすい魅力的な就業環境と担い手の確保 等
2 新しいひとの流れをつくる	移住・定住の促進
第2期総合戦略における各分野の主要な取組(内閣府) 「地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる」	○地方移住の推進 ○若者の就学・就業による地方への定着の推進 ○関係人口の創出・拡大 ○地方への資金の流れの創出・拡大 等
3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(1)結婚への支援の充実 (2)妊娠・出産・子育て支援の充実 (3)教育環境の充実
第2期総合戦略における各分野の主要な取組(内閣府) 「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」	○結婚、出産、子育ての支援 ○仕事と子育ての両立 ○地域の実情に応じた取組の推進 等
4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	(1)人口減少社会における生活圏の形成 (2)地域間連携の推進 (3)安心で誰もが暮らしやすい生活環境の確保
第2期総合戦略における各分野の主要な取組(内閣府) 「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」	○質の高い暮らしのためのまちの機能の充実 ○地域資源を活かした個性あふれる地域の形成 ○安心して暮らすことができるまちづくり 等

重点戦略

本町の総合戦略では、これまで種をまき、育ててきたものは「基本目標」として位置づけ、引き続き事業を展開させるとともに、まちの課題解決及び目標人口の達成に向けた戦略として、下記の「重点戦略」を設定し、各目標の達成に向け、スピード感を持って全力で取り組んでまいります。

- (1)【重点戦略:子育て・教育環境を充実します】
- (2)【重点戦略:「ひと」の流れを確保します】
- (3)【重点戦略:住環境を整備します】

※詳しくは上毛町のホームページをご覧ください。

●問い合わせ先 企画情報課 企画情報係 TEL 72-3112(内線122)



人口ビジョンの改訂について

人口ビジョンとは

人口ビジョンは、本町における人口の現状を分析するとともに、人口に関する住民の認識を共有しながら、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示するものです。また、人口ビジョンは、この計画と同時に策定する、「上毛町総合戦略」において、地方創生の実現に向けた効果的な施策を企画立案する上での重要な基礎として位置づけるものです。

改訂の趣旨

このたび、第2期総合戦略の策定にあたり、平成28年3月に策定した人口ビジョンで採用している将来人口推計のための更新データが国から提示されたことを踏まえ、引き続き第2期総合戦略で地方創生のより一層の充実・強化に取り組んでいくため、近年の人口の現状分析と将来人口推計を行い、人口ビジョンの改訂を行いました。

若い世代の結婚・出産・子育てなどの希望を実現させる

20歳代、30歳代を中心とした子育て世代の町外の流出抑制、移住・定住、交流人口の確保のため、子育て環境の整備や各種支援の充実を図ります。



移住・定住に関する希望を実現する

若い世代が安心して働き、結婚・出産、子育てがしやすく、充実した教育が受けられる住環境を整備するとともに、UIJターン希望者の受け入れを促進するなど、「住んでみたい・住み続けたい・戻りたい」と思える取り組みを展開します。



目標達成に向けた課題への対応

本町は関係各課・住民などとの協働による取組を検討し、暮らしのベースとなる住宅整備や支援、教育施設の整備、質の高い教育の提供、多彩な雇用の創出を図るとともに、結婚・出産、子育て支援や高齢者がいつでも健康で生きがいをもって住み続けることができるまちづくり展開し、「選ばれるまち」として人口増加をめざします。

2040年
上毛町目標人口
1万人



具体的な推計内容

合計特殊出生率は、令和7年(2025年)1.9、令和12年(2030年)2.1を実現したと仮定

転入超過数(男女ともに全年代)

- 平成27年(2015年)
- ▼ 年間60人程度増加
- 令和2年(2020年)
- ▼ 年間120人程度増加
- 令和7年(2025年)
- ▼ 年間160人程度増加
- 令和12年(2030年)
- ▼ 年間230人程度増加
- 令和22年(2040年)
- ▼ 総人口1万人達成

その後は60~80人程度で推移すると仮定

上記の仮定が達成されれば、「社人研推計」より総人口は増加し、令和22年(2040年)に総人口が1万人に達し、それ以降は1万人を横ばいする見通しとなっています。人口構造は、高齢化率が令和7年(2025年)をピークに低下していき、一方で生産年齢人口は令和22年(2040年)を底に上昇に転じる見通しとなっています。

特集

まちづくりの現場から

このコーナーは、九州一輝くまちづくりのため、上毛町第2次総合計画に掲げている事業のプロセスや課題などを紹介するものです。今月は、「人口ビジョン及び総合戦略の改訂」の特集です。